


県政調査計画書

平成 27 年 10 月 9 日

県議会議長 土井 りゅうすけ 殿

会派名 民主党・かながわクラブ

団長名 たきた 孝 徳 

(署名又は記名押印)

県政調査を次のとおり計画しましたので、よろしくお取り計らいください。

1 調査議員	(調査団長) 大村 博 信 (団 員) 齋 藤 健 夫 山 口 ゆう子 長友 よしひろ 青 山 圭 一 石 川 裕 憲
2 調査目的	創薬研究開発分野、新産業創出育成分野において、多機関連携による総合的かつ有機的な支援体制を構築して取組を推進している事例を調査するとともに、文化遺産を活用した観光振興により実績を挙げている事例、市民からの寄附により持続的な資金調達を実現している事例を調査することにより、本県における今後の施策の参考とする。
3 調査期間	平成27年11月17日 ～ 平成27年11月19日
4 調査地	長崎県、熊本県
5 調査項目	(1) 国立大学法人長崎大学 先端創薬イノベーションセンター (NU-MIC) 先端創薬イノベーションセンターは、長崎大学における創薬及び医療イノベーション・シーズ発掘から臨床治験までの一元化体制を構築し、迅速な研究開発体制を実現するとともに、学外機関との連携を強め、それぞれの強みを生かした総合的かつ有機的な運営を図っている。



	<p>同センターの創業研究開発の取組を調査することにより、本県の取組の参考に資する。</p> <p>(2) 独立行政法人中小企業基盤整備機構 ながさき出島インキュベータ (D-FLAG)</p> <p>ながさき出島インキュベータは、長崎3大学(長崎大学、長崎総合科学大学及び長崎県立大学)、長崎県及び長崎市と連携し、医工連携をはじめとした幅広い業種を対象に、大学が持つシーズや研究成果と地域企業が持つ技術力を活用し、新事業の創出・育成を図っている。</p> <p>同施設の産学官連携による新事業の創出・育成の取組を調査することにより、本県の取組の参考に資する。</p> <p>(3) 長崎県庁、三菱重工業株式会社長崎造船所史料館</p> <p>長崎県には、世界遺産登録が決定した「明治日本の産業革命遺産」の構成資産をはじめ、世界遺産登録を目指す「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の構成資産など、貴重な文化遺産が多く存在する。長崎県では、文化遺産の情報発信を積極的に展開するなど観光振興への活用を進めており、その結果、昨年度は観光客数が過去最高を記録している。</p> <p>同県の文化遺産を活用した観光振興の取組を調査することにより、本県の取組の参考に資する。</p> <p>(4) 熊本市熊本城総合事務所</p> <p>熊本市では、熊本城復元整備事業に必要な財源を確保するため、「熊本城一口城主制度」を創設し、平成9年以降、長期にわたり市民からの寄附による持続的な資金調達を実現している。</p> <p>同市の「熊本城一口城主制度」の内容を調査することにより、本県の取組の参考に資する。</p>												
6 経費の概算額	<table> <tr> <td>一人当たりの議員経費</td> <td>……………</td> <td>134,170円</td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td>交通費</td> <td>97,570円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>宿泊費</td> <td>33,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>日当</td> <td>3,600円</td> </tr> </table>	一人当たりの議員経費	……………	134,170円	内訳	交通費	97,570円		宿泊費	33,000円		日当	3,600円
一人当たりの議員経費	……………	134,170円											
内訳	交通費	97,570円											
	宿泊費	33,000円											
	日当	3,600円											

\* 日程表を添付する。

## 県政調査日程表

日	月日(曜)	調査地	現地時間	交通機関 (所要時間)	調査箇所及び調査内容
1	11月17日 (火)	■長崎県 長崎市	午前  午後	航空機  公共交通機関  公共交通機関	移動(羽田空港→長崎空港)  ■国立大学法人長崎大学 先端創薬イノベーションセンター(NU-MIC) ・創薬研究開発の取組について  ■独立行政法人中小企業基盤整備機構 ながさき出島インキュベータ(D-FLAG) ・産学官連携による新事業の創出・育成について  ＜長崎市内泊＞
2	11月18日 (水)	■長崎県 長崎市	午前  午後	公共交通機関  公共交通機関  公共交通機関	■長崎県庁 ・文化遺産を活用した観光振興について  ■三菱重工業株式会社長崎造船所史料館 ・文化遺産を活用した観光振興について(現地視察)  移動(長崎駅→熊本駅)  ＜熊本市内泊＞
3	11月19日 (木)	■熊本県 熊本市	午前  午後	公共交通機関  航空機	■熊本市熊本城総合事務所 ・熊本城一口城主制度について  移動(熊本空港→羽田空港)

県政調査計画審査結果

県政調査計画について審査したところ、結果は次のとおりでした。

調査実施議員名	(調査団長) 大 村 博 信 (団 員) 齋 藤 健 夫、山 口 ゆう子、長友 よしひろ、 青 山 圭 一、石 川 裕 憲
---------	---

1 要領 2 (1) の基準への適否

区 分	調査の基準	計画の内容	適否
① 調査経費	議員 1 人当たり 100 万円以内	議員 1 人当たりの経費は、134,170 円であり、基準を満たしている。	適
② 調査箇所	1 日につき午前及び午後それぞれ 1 箇所以上調査実施 移動日は 1 箇所以上調査実施	移動日について 1 箇所以上、それ以外の日について午前及び午後それぞれ 1 箇所以上調査を実施する行程となっている。	適

2 調査計画に対する審査所見

区 分	所 見
① 調査の実施が県政課題解決の一助となるか。	<p>(1) 大学内外との連携による創業研究開発の取組を調査することにより、本県におけるヘルスケア・ニューフロンティア推進のための各機関と連携した革新的医薬品開発の取組の参考に資する。</p> <p>(2) 産学官連携による新事業の創出・育成の取組を調査することにより、本県における事業者支援機関との連携によるベンチャーなどの創出・育成施策展開の参考に資する。</p> <p>(3) 文化遺産を活用した観光振興の取組を調査することにより、東京 2020 オリンピック競技大会へ向けた本県の地域資源を活かした観光客誘致施策展開の参考に資する。</p>

区 分	所 見
① 調査の実施が県政課題解決の一助となるか。	<p>(4) 市民からの寄附による持続的な資金調達を実現している制度を調査することにより、寄附による県動物保護センターの建替えを決定するなど、寄附文化の醸成を目指している本県の取組の参考に資する。</p> <p>以上のことから県政課題解決の一助となるものと認められる。</p>
② 調査の実施時期が時宜を得たものか。	<p>(1) 本県では、健康寿命日本一と新たな市場・産業の創出を目指す「ヘルスケア・ニューフロンティア」の実現に向けた取組を進めているところであり、その取組の一環である「神奈川発の革新的な医薬品の開発」に関連する事例の調査は、時宜を得たものである。</p> <p>(2) 「ベンチャーなどの創出・育成」は、本年8月に策定された「かながわグランドデザイン第2期実施計画」にも主要施策として位置付けられたところであり、産学官連携による取組事例の調査は、時宜を得たものである。</p> <p>(3) 本県は、東京2020オリンピック競技大会へ向けて外国人観光客を含めた観光客誘致の取組を推進していく必要があるところ、地域資源である文化遺産を活用した観光振興により、昨年度の観光客数が過去最高となった長崎県の事例調査は、時宜を得たものである。</p> <p>(4) 本県では、本年7月に県動物保護センター建設基金を設立し、寄附により同センターの建替えのための資金を調達することとしたところであり、寄附による持続的な資金調達を実現している事例の調査は、時宜を得たものである。</p>
③ 現地に赴かなければ調査目的が達成できないものか。	<p>各分野について、本県における今後の施策内容に活用していくためには、現地に赴き、現場職員から取組内容やその成果について、具体的かつ詳細に調査及び聴取しなければ、調査目的を達成することはできないものである。</p>
④ 調査箇所、行程、経費等は妥当なものか。	<p>調査箇所、行程、経費等は、県政調査実施要領の基準を満たし、妥当なものである。</p>